

F  
2  
5

大正十二年二月

乳兒及幼兒の死亡に關する參考資料

(第二輯)

国立保健医療科学院蔵書



\*10012064\*

昭和七年二月二十七日

川上理一氏

贈

東京衛生院

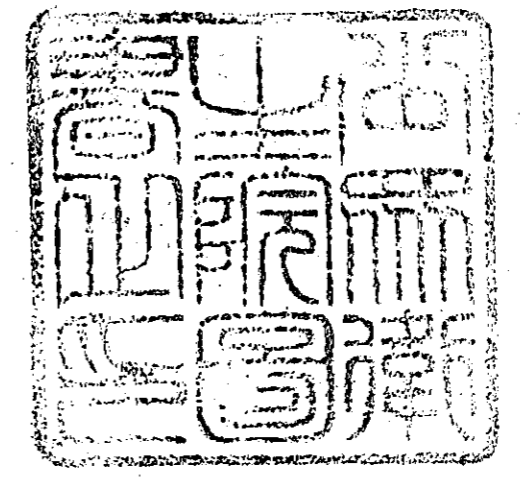
F  
2  
5

内務省衛生局

F  
2  
5

7558

F
2
5



# 乳兒及幼兒の死亡に關する參考資料

## 目次

- (一) 富者と貧者とに於ける乳兒死亡率の比較 ..... 一頁  
The Infant mortality of Rich and Poor
- (二) 社會衛生施設に依る兒童保健増進事業に關する組織 ..... 五  
Organisation d'un service de surveillance de la Santé des Enfants
- (三) 佛國「エカン」に於ける乳兒死亡率に對する奮闘の四十年(良乳供給所 Goutte de lait の成績) ..... 八  
佛國各地方別乳兒死亡率 ..... 二四
- (四) 紐育市に於ける乳兒死亡率 ..... 二七  
Infant mortality in New York City
- (五) 米國「デトロイト」に於ける乳兒死亡率 ..... 三二  
Infant mortality in Detroit

(七) 米國「ミズウリ州」に於ける兒童衛生調査 ..... 四九  
*Investigations of Child Hygiene in Missouri* ..... 三三  
 (八) 獨逸に於ける産褥婦保護規程 ..... 七六  
*Die reichsgesetzliche Ordnung der Wochenhilfe* ..... 三三  
 (九) 伯林に於ける第六回獨逸乳兒保護會議 ..... 八〇  
*Berlin VI Deutsche Kongress für Säuglingsschutz* ..... 八  
 (一〇) 千九百二十年に於ける伯林市醫務局保護婦業務報告 ..... 八四  
*Bericht über die Tätigkeit der Fürsorge-Schwester des Medizinalamts der Stadt  
 Berlin in Jahre 1920* ..... 八  
 (一一) 乳兒保護婦としての産婆 ..... 九六  
 (一二) 戦時伯林市に於ける孤兒の榮養障害 ..... 一〇四  
 (一三) 獨逸に於ける兒童療養所一覽 ..... 一〇  
 (一四) 獨逸國に於ける乳兒保護事業 ..... 一三六  
 (一五) 伯林市に於ける乳兒死亡率巴里市に於ける貧困と死亡率殊に乳兒死亡率との關係 ..... 二二八

## 乳兒及幼兒の死亡に關する參考資料 (第二輯)

### (一) 富者と貧者とに於ける乳兒死亡率の比較

(The Infantile Mortalities of Rich and Poor)

By Duncan Forbes, M. D. Edin. D. P. H. Camb;

一九二二年三月四日發行「ランセット」所載

社會各階級に於ける乳兒死亡率の比較は、母子保護事業に於ていづれの方面に今後最も力を盡した  
 ら多大の効果を擧げることが出来るかといふ點に解明の光を投げるものである。都市のわるいこと  
 は、必要な數字がなか／＼得られない。そのわけは、このブライトンの町の各區の住民が各階級に亘  
 つてゐるからで、この所論の目的のためには、まづブライトンの市區を分類する必要が起つて來るの  
 である。そこで (一) 最も貧困な家族のある地區、(二) 不熟練職工のある地區、(三) 技師工及び勤人  
 のある地區、(四) 商人、實業家等富裕な者のある地區といふ風に分類した。(一)から(四)に至るに従  
 つて次第にその収入俸給が増してゐるのである。その外に各地區から出た私生兒を一つに纏めて一類  
 とした。この統計は二十年間(一九〇一年から一九二〇年)までに亘り、出生件數五〇、八七七を含ん

である。これを表で示すと、次の通りである。

私 生 児	出生全数	乳 児 死 亡 率		
		第一週における	第一月における	第一年における
(一) 最貧困者	三、七六七	二七・一	四八・〇	一七〇・〇
(二) 不熟練職工	七、九一〇	一八・七	三五・一	一三三・〇
(三) 技 術 工	一八、〇二五	二二・二	三四・九	一〇三・〇
(四) 富 裕 者	一六、一二三	二四・〇	三六・一	八七・〇
計	五〇、八七七	一九・四	二七・七	六〇・〇
		二二・三	三五・六	一〇三・〇

生後第一週における死亡率

前表の数字によると、私生児を除いて第一週の末に生残る乳児の蓋然量 (Probability) は、各種の類部を通じて大抵一様であり、貧困者の場合におけるものが少しく良好である。

生後第一月における死亡率

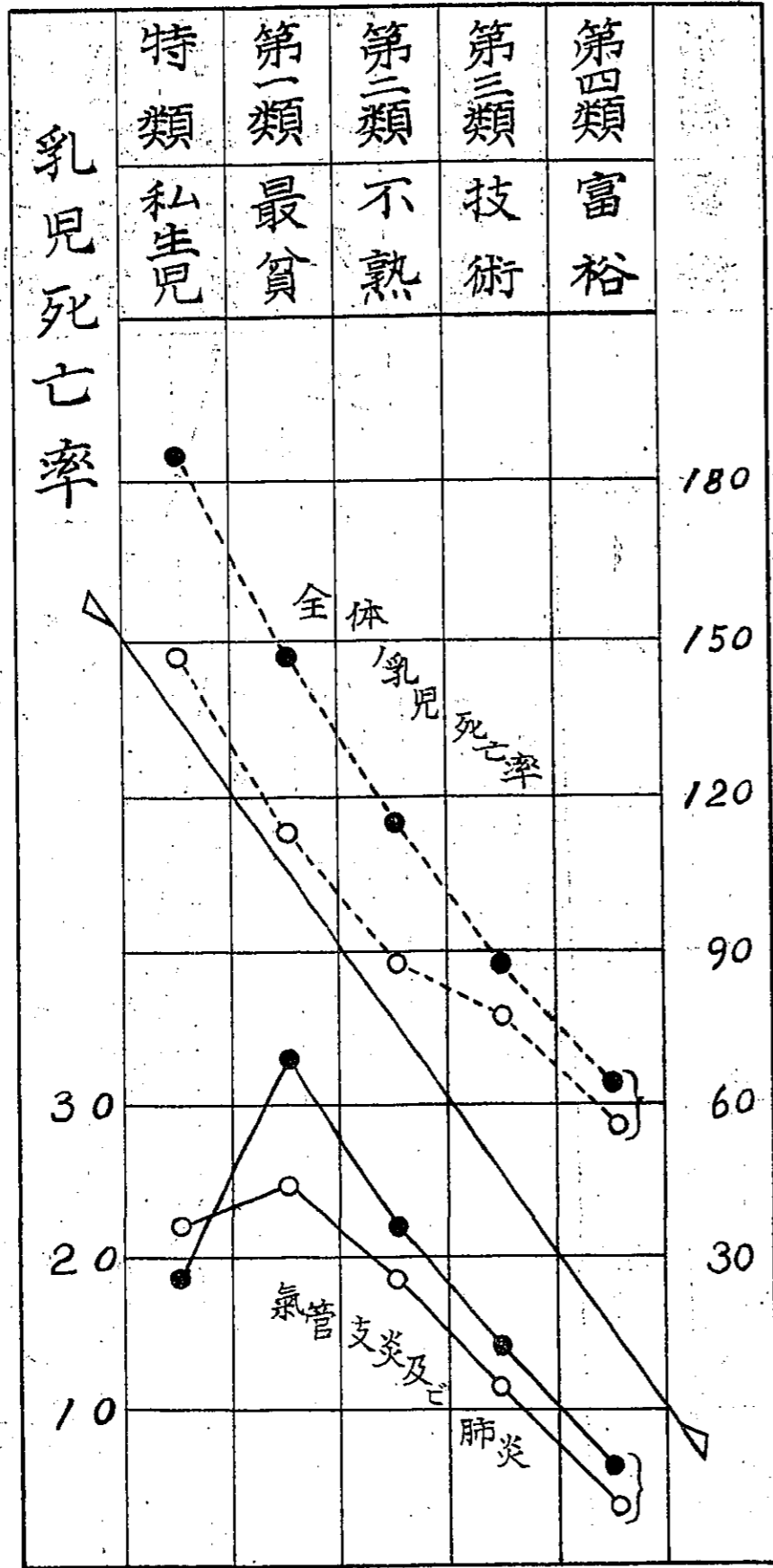
乳児の生命が非衛生的な環境と貧窮な社会的状態とに對して極めて敏感であるといふことは、一般に承認されてゐるところである。しかし第一月の末に於てさへ、「最貧者」、「不熟練者」及び「技術工」の部類における乳児死亡率の相違は僅かである、「富裕者」階級だけが比較的大きな減退を示して

ゐる。この数字は、どんな衛生的及び社会的状態の中にもその妊娠中の母親がゐたにしても、生後その乳児に對して同じ様に良好な保護を與へるならば、同様によく生育するものであるといふことを幾分なりとも證明する趣がある。

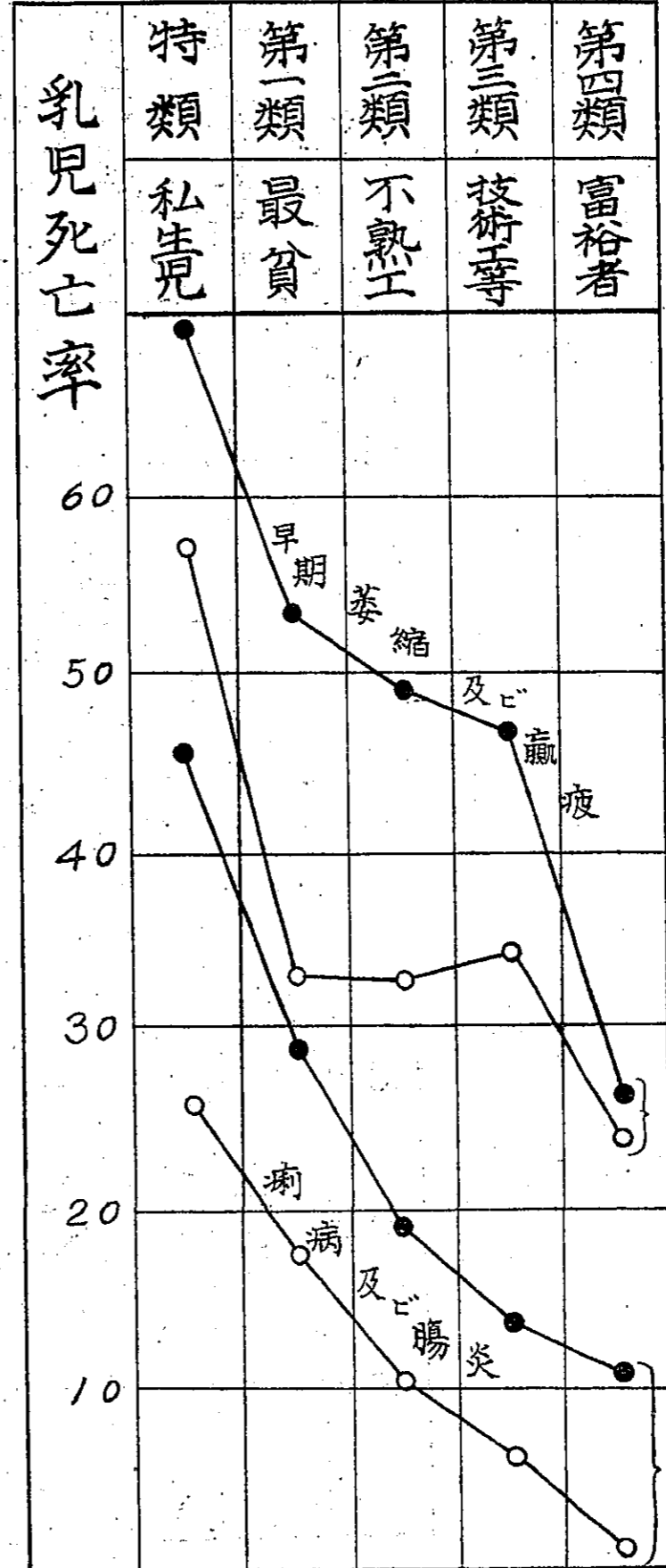
生後第一年における死亡率

すべての衛生醫官は、公生児と私生児との間に死亡率の大きい相違があることを知つてゐるが、富者と貧者との間に於ける乳児死亡率の差異を示す一定の資料を大抵は持合せないのである。それ故に上表の数字は、研究する價值がある。富裕者の側における乳児死亡率を一〇〇とすると、技術工階級に對しては大約一四五、不熟練工に對しては一七〇、最貧者に對しては二二〇、私生児に對しては二八〇である。近年(一九二二年—一九二〇年)に於ける数字は、更に一層顯著な結果を示してゐる。この年度にあつては、富裕者に對する乳児死亡率を一〇〇とすると、他の者は次のやうである、技術工一七〇、不熟練者一八五、最貧者二三〇、私生児三〇〇、生れたときには生殘の大體均等の機會を與へられてゐるのであるが、生後の保護が各生活階級によつて頗る厚薄があるところから、上述のやうな乳児死亡率の差異を生じたのである。

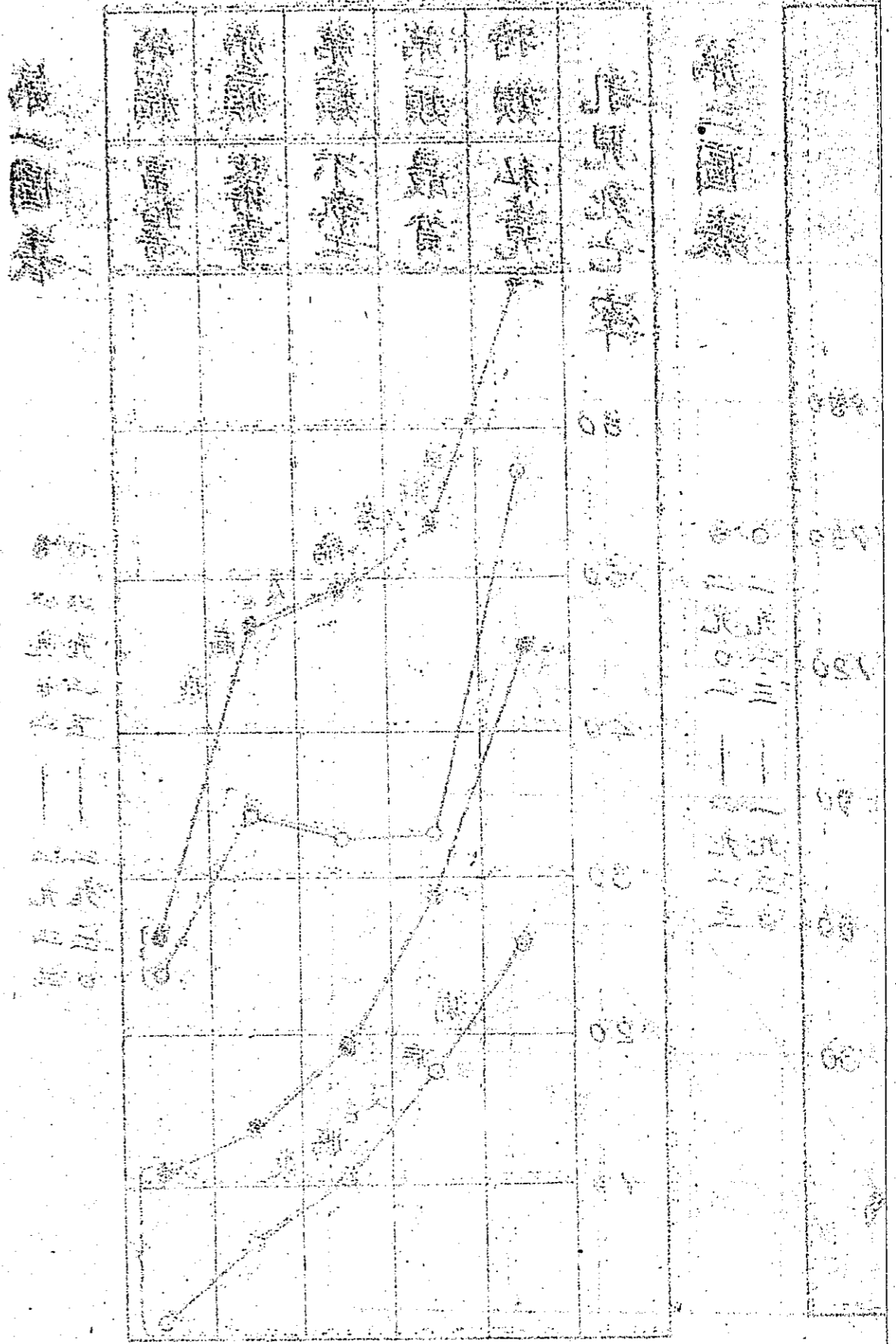
その結果を一目瞭然たらしめるものは、次の圖表である。是の表は、一九〇一年から一九二二年までと、一九一三年から一九二〇年までとの二時期に分けて乳児死亡率を比較したのである。



第二圖表



第一圖表



總 束

一、初生児の生残の蓋然量 (Probability) は、母親の妊娠中の生活状態の社会的及び衛生的條件によつて實質上影響を蒙らない。そして生後同一の良好な環境に於て保育されるときは、各種階級の乳も生残と同様の蓋然量 (Probability) を示す。

二、生後第一年間に於ける富裕者の乳児に見る死亡率は、最貧者の乳児の間に見る死亡率よりも半分だけ少い。

三、痲病による乳児死亡率の減退は持續するらしい。最貧者に於けるものは、富裕者に於けるよりも七倍大である。

四、出来るならば、生後第一週に於ける死亡率を減ずる新しい方策が必要である。

五、氣管支炎及び肺炎に因る乳児死亡率は、最貧者に於けるものが富裕者に於けるものゝ五倍である。これは貧者に於ける住宅の改善によつて、大いにその差異を軽減し得るであらう。

(二) 社會衛生施設に依る兒童保健増進事業に關する

組織 (Par le Dr. P.-F. Armand-Deville.)

Organisation d'un service de surveillance de la Santé des Enfants



事務の處理及人に關する一覽表

醫師 Médecin.

- 一、出産前に於ける毎週診察。
  - 二、養兒 Nourisson の健康診斷。
  - 三、兒童の疾病に對する診斷。
  - 四、母親の日常生活に於ける衛生的教育をなし且經驗を高尙ならしむること。
- 衛生巡視員 Visiteuse d'hygiène.
- 一、社會的調査 Enquêtes sociales.
  - 二、調査表の整理、(社會事業)。
  - 三、乳汁、特殊食料又は醫藥の配達。
  - 四、巡視員の報告。
  - 五、學校長、巡回醫及學校看護婦 infirmière scolaire に依る記事。

六、救助事業の記事。

巡視補 Aides visiteuses.

- 一、妊婦 femme enceinte の居宅訪問。
- 二、健康なる養兒居宅の訪問。
- 三、診療の補助。

免許看護婦 infirmière diplômée.

- 一、病兒看護に對する巡回、訪問。
- 二、家族より醫師への報告。
- 三、病院及其の事業の報告。
- 四、衛生巡視の報告。
- 五、學校兒童の巡視(之は専務的のものにあらず)或は學校看護婦の報告。

産婆 Sage-femme.

- 一、分娩 Accouchements.
- 二、出産前後の取扱。



(三) 佛國フエカンに於ける乳兒死亡率に對する奮闘の

四十年 (一八八一年乃至一九二二年)

良乳供給所 La goutte de lait (一八九四年乃至一九二二年)の成績

本篇は一九二二年四月六日發行 La Presse Médicale 第二八號に掲載されたるものなり

一理想を趁ふて忍耐すること四十年の後、その經たる道程を回顧しその得たる結果を報告するは、又一つの義務たるべし。

海岸地方たるフエカンに於ては、出産率はフランスの他地方に比して常に高位にあること左表に示すが如し。

フエカン住民 百人に付	フランス住民 百人に付
一八一六—一八三六年	三二、〇〇
一八三六—一八五六年	三二、一九
一八五六—一八七六年	三一、三八
一八七六—一八九六年	三一、五九

一八九六—一九一六年	二七、七八	一九、〇〇
一八一六—一九二〇年	二二、七六	(一九〇六年)

尤も出産率はフランス一般とその歩調を一つにし絶えず低下するは慨嘆すべきなり、只今日尙フランス全體に比しては高位に在りと云ひ得べし。

不幸にも、この強大なる出産率に對して第一歳の乳兒の死亡率は非常に大なり。

フエカン出産 百に對し	フランス出産 百に對し	
一八一六—一八三六年	二〇、三八	ル—セル法以前
一八三六—一八五六年	一九、〇五	一八四〇—一八四九年
一八五六—一八七六年	二一、二六	一八五〇—一八五九年
一八七六—一八九六年	一九、五五	一八五九—一八六六年
一八九六—一九一六年	一六、八八	ル—セル法施行以前
一九一六—一九二〇年	一〇、四九	一八七七—一八八六年

労働者の社會に於ては一家内に、一五、一八、二〇、二二の小兒を數ふること罕ならざるものなるが是等母親は一種の宿命觀を抱けり。曰く「勿論人は多數の小兒を生み得べしといへども、必ずしも凡てを養育し得べしと望むべからず」と。

乳兒の死亡は主として、胃腸炎に因るものなるが、同地の最も貧困なる階級に於て殊に著し。即ち是等不潔なる個所に於ては小兒養育の方法殊に不良なり。

吾人が一八八一年フエカンに到着して以來、吾人はかくの如き事態に對抗し、之れを改善するを以て吾人が生涯の目的となさむと固く決心せり。

これ實にかの哺乳器使用の時代にして、又吾人が不幸なる印象の時代なりき、この地方に於ては、母親自ら哺乳せざることが絶えず増加する一方なりしなり。

茲に吾人が一八九五年に記述せし所のものあり（本問題に關しては、一九一〇年以來の吾人が忠實なる關係醫師マルセル、モーバ氏が一九一二年、フエカンにて開かれたる良乳供給所の全國會議に對する報告を見らるべし）。

「二十歳に於て男兒の三分の一は徴兵検査に出頭せず。實にそれ以前に於て死亡し去りたるなり。

「殊にこの貧民窟を襲ふこの極端なる死亡率の原因は何ぞ。

「茲に小兒は屢々酒精亂用の父母より生れ、多少結核の素質を有し、従つて抵抗力乏しき状態に存す。その嬰兒時代は不健康なる住居にて過され、父母は餘暇乏しきがため、將寒氣を恐るゝがため、小兒をしてこの住居より外出せしむること罕なり。

「この多人數群居せる住居は一般に不潔にして、茲に臥眠し、洗濯し、洗濯水は、床上に洗はれ、床

といふも大抵固められたる土間にすぎず、家族はこの一部屋を、庖厨とし茲に食事し、こゝに喫烟す而して空氣を通ずること少く、ことに冬期に甚だし。

初生兒の榮養は極めて不良に處理せらる。これ、この社會の出産に際して、常に世話する年長の婦人が時代遅れの、やり來りに因れる規則に原因するものなり。醫師は小兒養育の範圍外に置かれ、たまたま小兒の疾病に犯さるゝや招致せらるるといへども、通常時機を失す。尙醫師の言は、たとへ如何に熱心に説明するも遵守せらるゝこと少なく、醫師を招致するは、只形式に過ぎざるなり。

「かくの如き状態の下にては、殊に暑氣に際して盲腸炎が慢性的に流行するものとす。

「離乳すること早きに過ぎ従て不消化物を食せしめ、甚だしきは酒精興奮料を與ふ。

「長管を附せる哺乳器は搖籃中に放置せられその充滿せる乳汁は醗酵し、乳兒はその欲する儘にこの有害なる飲料を飲むなり。こは母親をして凡て心配を離れしめ、家事の注意を放擲して隣家に無駄話しに行かしめ遂に取り返し附かざる状態に至らしむ」。

吾人が最初の救済を企圖せし時は實にかくの如き事態に面せしなり。この救済方法たる忠告を與へ警句を宣傳すること幾度となく最後に必要なる場合にはソックスレットの器を貸し與へたり。

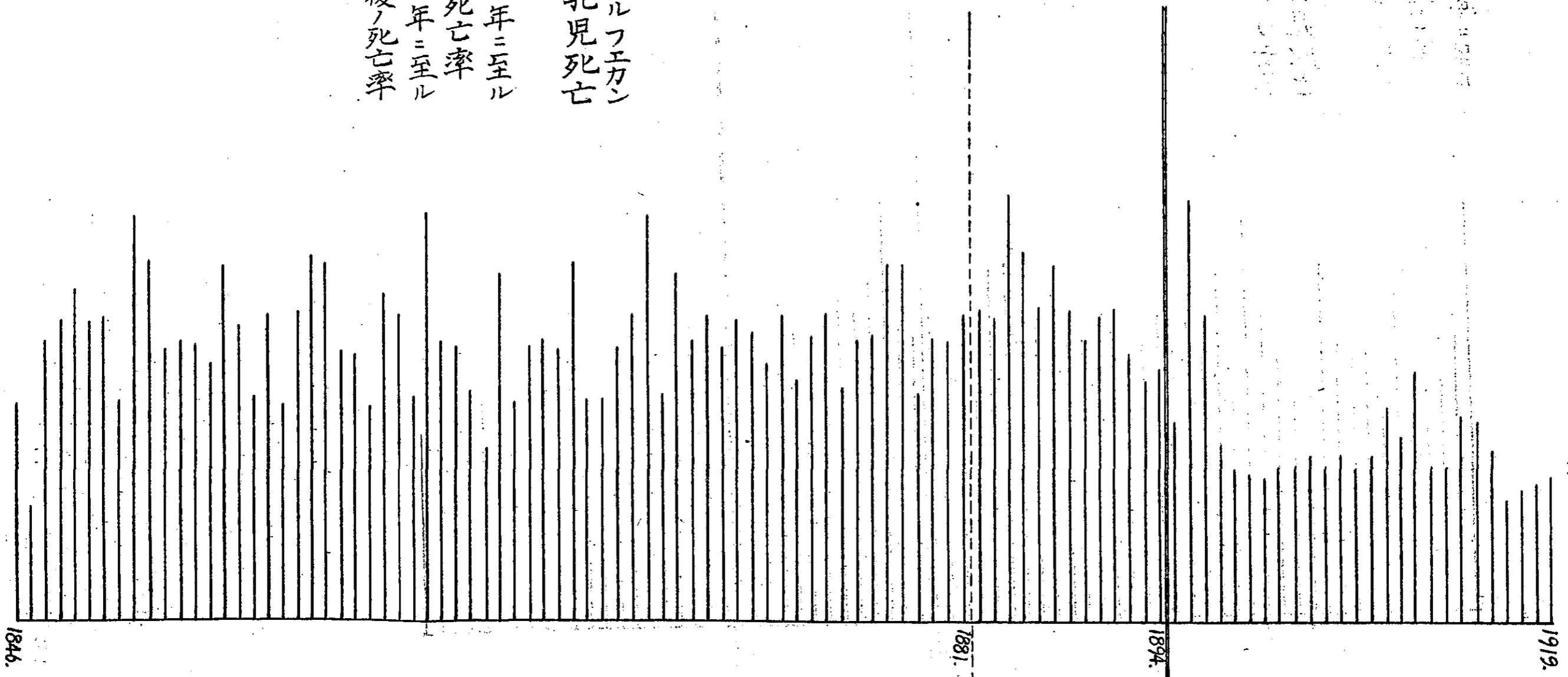
この最初の努力は一八八一年より一八九四年に至るまで繼續したるが、これ困難にして屢々豫期に反したるが、しかも已に効果ありき(第一表)

一八九四年ヨリ一九二一年ニ至ル  
 良乳供給所ノ創設後ノ死亡率  
 一八九四年ヨリ一九二一年ニ至ル  
 良乳供給所前ノ死亡率  
 一八九四年ヨリ一九二一年ニ至ル  
 良乳供給所創設後ノ死亡率

第一圖

一八二六年ヨリ一九二一年ニ至ルフエカン  
 ニ於ケル住民千ニ對スル乳児死亡率  
 率(内務部ノ公表數字)

一八八一年ヨリ一八九四年ニ至ル  
 良乳供給所前ノ死亡率  
 一八九四年ヨリ一九二一年ニ至ル  
 良乳供給所創設後ノ死亡率



1846.

1881.

1894.

1919.

十三年間この奮闘を續けたるのち吾人は遂に、吾人が是等不幸にして無智なる母親達に成さむことを望むよりは、吾人自身が之れを成すの更に適當にして、乳兒に取りても利益多かるべきを考ふるに至れり。即ち、初め一定數の是等母親達に範を示し、適當に調理せられたる牛乳を分配し、この模範によりて次第々々に、かゝる種類の人口をして、良好に活動せしむるに至らしめむこと、結果多きに非ずやと考へたり。

吾人は、何事なりとも彼等の子孫に關係せることは、必ずや母親達をして改善に至らしめ得べしと、深き信念を有したり。吾人は考ふらく漸次良好なる結果を擧げむには、在來の誤謬は跡を絶つべく、母親達にして啓蒙せられ、その義務を如何にして果し得べきかを知らむには、呪ふべき習慣を棄て、少くとも更に健全にして合理的なる新方法を採用するに至るべしと。

茲に於て、一八九四年六月、良乳供給所、*La goutte de lait* を創設したり。

この名稱は「パン一口」*La Bouchee de pain* なる名稱に對して、選ばれたるものにして、尙その、創設せられたる助力方法の巧妙及びその傾向を表はすがため、他の言葉より可なりと考へたり。

その創設以來の事業の目的下の如し。

若齡に於ける乳兒の死亡に對して、奮闘すること。

一、家族の母親達に對し、自ら己れの乳を以てその乳兒を哺育せしめむがためあらゆる勸告と獎勵

とを與ふること。

二、母親が完全に哺育すること能はず、人工的方法を加味せざるべからざる場合には、良乳供給所は出来る限り、哺乳を廢せざらしめ、不足なる乳を供給して、乳兒をして混合榮養を得しむる様になすこと。

三、若し母親にして、生理上、道德上、又は社會上、その乳兒に哺乳すること能はざること證せられたる場合には、良乳供給所は、乳兒をして、保護と愛情とを受け得むがため、母の家庭に止まらしむ。この目的のために、一日に必要な量の乳汁を與へ、人工榮養を良好になし得むがための勸告を與ふ。

フェカン町の第一歳の乳兒は、良乳供給所を利用し得むがため、その健康状態と、その社會上の地位如何とに論なく、之れに加はることを得。然れども、事業の活動方面は主として、乳育哺育の困難最大なる貧困なる方面に向けられたり。

乳兒は三部分に區劃せらる。

- (イ) 無償の部 (貧困者)
- (ロ) 半額支拂の部 (相當の勞働者被雇人)
- (ハ) 全額支拂の部 (有産階級恒産ある者、富者)

是等、三部の乳兒は、朝搾りたる乳にして百二度にて消毒せられ、同様に調理し、同様なる容器に入れたる同様の乳を得。

一年の間(若し必要ならば二年間)各家庭の母親達は毎日その乳兒が二十四時間中に飲用する回数丈の哺乳器(通常六個)を入れたる籠を求めに來る。この哺乳器には、乳兒の年月と健康とに應じたる量の牛乳をふくむ。

良乳供給所がこの種の牛乳を調製したる方法は、屢々記述せられし所なり。この關係に於て得られたる進歩は、次の報告の問題たるべし、今日吾人は、良乳供給所の成立、事業の漸次發展及び得たる結果を與へらるを以て足れりとせん。

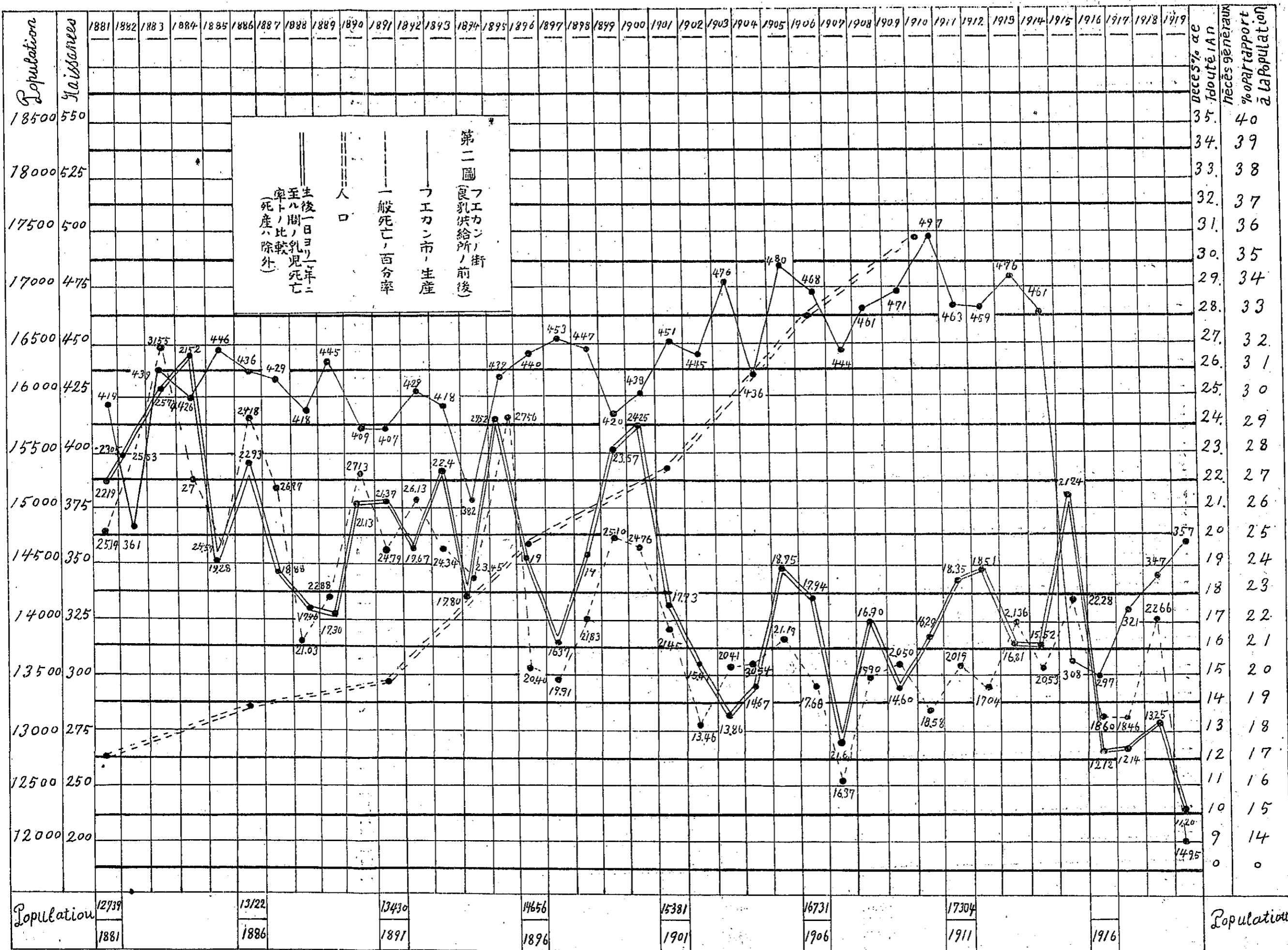
一週一回、その何曜日たるを問はず、十一時より正午まで、各部の母親はその乳兒を良乳供給所に携へ來り、こゝにて秤量、診療せしむ、これを爲すには、母親達に何等の面倒なし。そは哺乳器の籠を受取りに來る際、その乳兒を診察の爲に、携へ來るは、最も容易なるが故なり。

得たる結果——吾人は明瞭ならしめんため、その結果を

「道德的、肉體的の利益」

「社會的、民族的の利益」

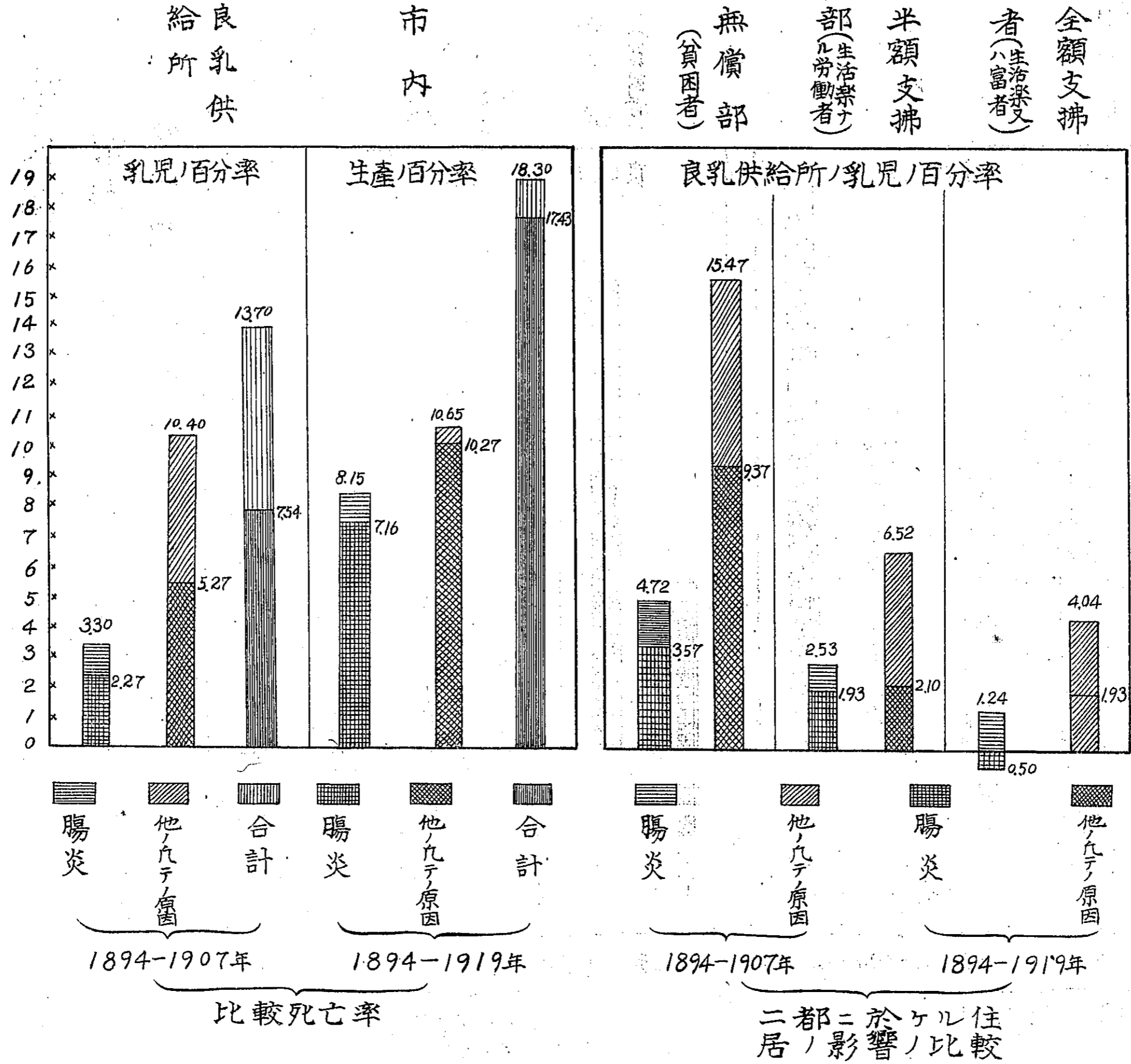
に分ち記述すべし。



Year	Population	Births	Deaths
1881	12739	2219	2305
1886	13122	27	2571
1891	13430	409	2113
1896	14656	440	2756
1901	15381	420	2357
1906	16731	445	2145
1911	17304	463	1704
1916	18660	476	1846
1919	19495	461	1495

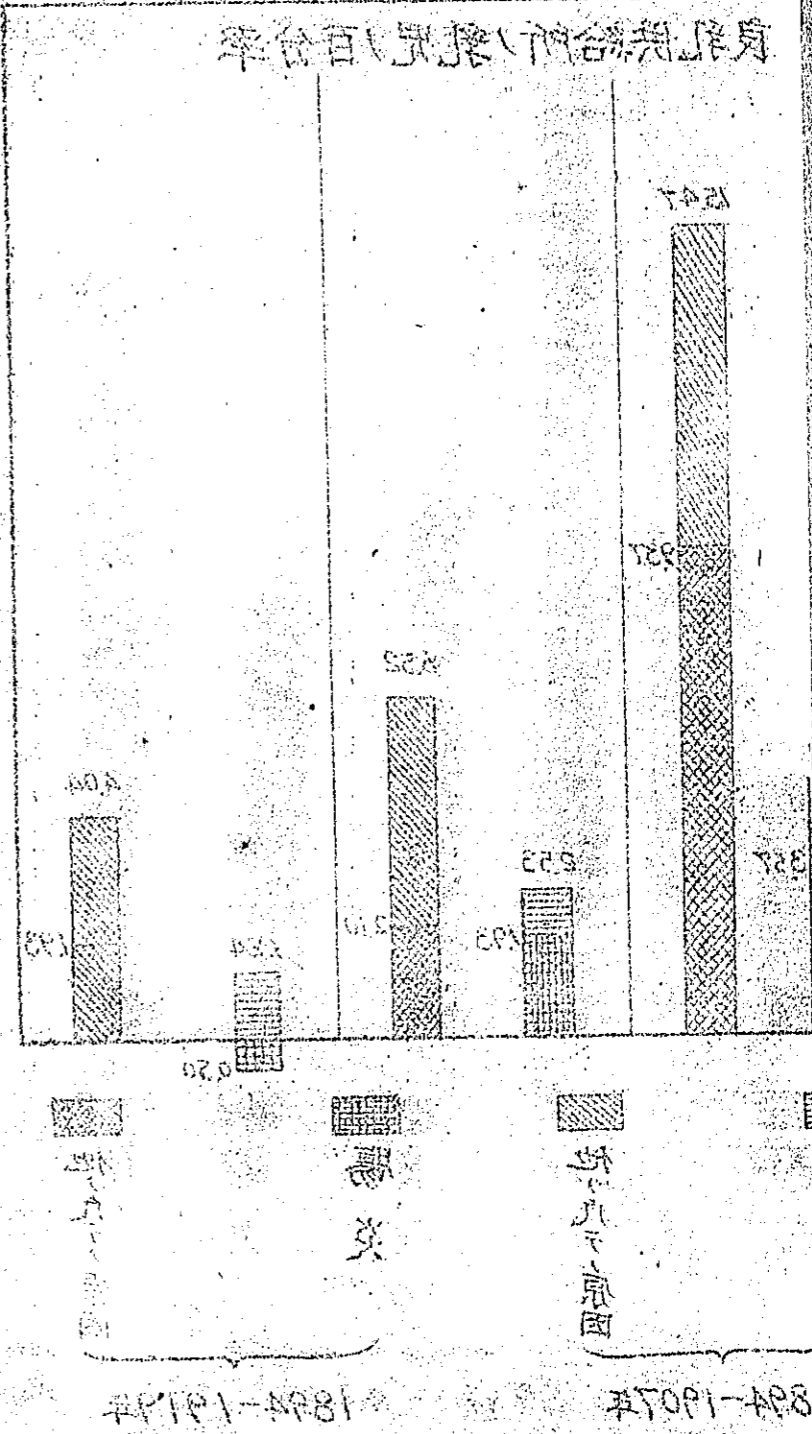
第三圖

市内ニ於ケル民族衛生運動ニ對スル良乳供給所ノ行爲。





(第一圖) 母乳  
 (第二圖) 母乳  
 (第三圖) 母乳  
 (第四圖) 母乳  
 (第五圖) 母乳



母乳の供給に依りて、乳児を出來得るだけ緻密に一定の監督の下に在らしめたり。

第三圖 母乳の供給に依りて、乳児を出來得るだけ緻密に一定の監督の下に在らしめたり。

道德的並肉體的利益

何よりも良乳供給所は乳児をして、その家庭内に在らしめ、その乳児診察に依りて、乳児を出來得るだけ緻密に一定の監督の下に在らしめたり。

この創設以來、良乳供給所は一日より一歳に至る乳児四千二百七十を託されたり(母乳に由りて哺育せらるるもの及び一歳より二歳に至るものはこの數に含まず)六十二萬三千リターの牛乳を分配せられ、乳児の母達には八十萬回以上の勸告與へられたり(一年平均四千回)是等は大多數市の貧困なる部分より來れるものとす。

乳児が良乳供給所に携へ來るや、本事業の臺帳に直ちに記入し、その將來の犠牲如何に大なりと考へらるゝも拒絶することなし。

讀者は第三圖にかゝる所は、只一日より一歳に至る小兒にして、混合と全部とに論なく人工的に養育せらるゝものゝみなるを記せらるべし。

全然母乳により養育せらるゝ乳児にありては死亡率は殆んど零なり。只是等はその健康診断のためまれに診察所に携へ來らるゝのみにして、是等は、良乳供給所の運動全體の略三分の一を占むるものなり。

母親達が全然哺乳するとき、吾人はこの方法を繼續する様に奨励し、母親達の集會にてこの方法

の非常に利益ある所以を高調し、その凡ての利益を感せしむ。然れども、若し母乳の減少するとき、吾人は吾人が配慮を倍加し、決して母親をして吾人が注視を去らしめず、彼等をして、一週一回、又は必要に際しては一週數回、吾人の下に來らしめ、乳兒を診察せしむ。吾人は最後に至るまで乳房の状態を視察し、時々吾人が調理したる牛乳を與へて乳兒の食料を補給す。

かくの如き方法に由り吾人は屢々母親が已に授乳の末期に至れりと輕信せる際に、乳汁を補充することを得たり。かくの輕信は非常に屢々無益、無經驗又は謬れる勸告に原づくものとす。

最初良乳供給所は貧困者の乳兒を目的としたるものなりしが、三年後、その得たる成績は、良好なる勞働階級及び町の富者達を感動せしめ、彼等も亦この新設備に由りて利する所あらむことを認めたり。かくて、吾人が乳兒の間に一種の相互扶助の組合の如きものを生じ、富者はその取り扱ひの全然貧者と同一なるよりして、貧兒の榮養を確實にするが如き有様となれり、戦前に於て、良乳供給所の日々の會計は、かくの如き方法にて收支償へり。

毎週、各種の階級に屬する母親達は診察のために伴ひ來り、一所にその乳兒を脱衣せしめ、その順番を俟ちて、乳兒を秤量せしむ。茲に何等の社會的地位に依る差別あるなし。かくて吾人はかく異なる階級より來れる家婦達が同時に集合することに由り如何なる相互の教育の行はれ得べきか逆睹するに難からず。最も異なる境遇の母達の心中に競争心の生ずること論を俟たず、乳兒に媚びるの必要や

他の母親を模せむとする願望やを生じ、乳兒に對する注意、有効にして、良好なるに至れり。

良乳供給所の進歩と發展とを注意したる人々は、一九二一年に於ける乳兒の状態と、一八九四年に於ける乳兒の状態とに如何なる差違の存するかに感銘すべし、これ乳兒自身のためなるのみならず、又その母親達のためたるなり。

乳兒診察のこの階級戦争よりは美しき、博愛的態度を生じ、これがその進歩、發展に甚だしく寄與したり。富者の母達は、その傍にて脱衣せらるゝ貧者の乳兒等に同情し時に自己が乳兒の乳兄弟となりたり。彼等は、この所謂精神的養子に助力せむと欲し、その母親の住居を尋ね、勸告を與へまた有用なる贈物をなせり。この社會的兄弟主義、出來る限りの有効健全なる道德的行爲は、多年間、ある家族の間に行はるゝに至れり。而して、今回の戦争は塹壕中に於て、是等乳兒兄弟が互に、助け合ひたる多くの例を示せり。

醫員室は、脱衣室の隣りにあり、各母達に與へらるゝ勸告は又他の母達にも聞かれ得べし。

「良乳供給所の發達に際して、屢々爲されたる説は、吾人が勸告に服したる母親は、外見非常に健康にして疾病の抵抗力強き乳兒を有し、かくの如くにして育てたる乳兒は醫師にかゝる事極めて罕なることにあり。吾人は、多數の工業製產品に依りて、乳兒を養育し得べしといへども、これに由りて眞に強健なる小兒を得るは難し。

戦争以來、吾人は可なり古き習慣を再現したり。即ち町の女學校の上級生並に高等小學の上級生を集め、良乳供給所の診察及び秤量を實地として、乳兒哺育法を教へたり。

この教育を初めて已に四閱年、吾人は是等の將來の母達は大部分勞働者階級に屬するものなり。是等の娘達がこの教育に抱く趣味は、將來幸福なる結果を得べきことを豫想せしむ。

茲に掲げたる曲線は一九一九年に止まれり(二十五年祭)同年以來、二人の乳兒は、腸炎以外の原因に由りて死亡し、一九二〇年には良乳供給所には一人の死兒を出さざりし事を附記すべし。

數年以來、吾人は、遺傳微毒の検査及び治療に注意を拂ひ、曾ては當然死の道程に上るべき運命なりし乳兒をも健康に復し得べき望あらしめたり。この方面には尙探究すべき豊富なる餘地あり、實現し得べき幸福ある希望に充てり。

#### 民族及び社會的利益

一八八一—一八九四年の間に於て吾人は已に過去に比較して、乳兒死亡率の眞に減退せるを見る。吾人は昔よりの死の手を除くべく、この時期にてなしたる努力は已に述べし所なり。

一八九四年以來、吾人は尙、一八九五、一八九九、一九〇〇年及び一九一五年に死亡率の高きを見るものなるが、是等の年は小兒科年表にて有名なる年にして、全フランスを通じて不幸なる乳兒の死亡多かりき。一八九五年の死亡率高かりしは云ふまでもなし。この四年を除けば、一九〇一年以來の乳

兒の死亡率は一一・二〇%に低下せりと稱することを得。フランス全體にて嘗て得られたる最良の平均は一六%たるなり。

第一表曲線に就ては、一八九四年以來、一八一六年以來の過去に比して、多大の曲線に短縮あるを見るべし。吾人が効果は、明瞭にして、吾人は之れを監督容易なる内務部の公なる材料に基づきて主張し得べし。

乳兒死亡及び結核(結核は、フランスの一般平均に達せず)はフエカンにて、一般死亡率の二大根源なりしが、乳兒死亡が減少すれば一般死亡率もそれ丈減すべきは明なり。實際もその通りにして、乳兒死亡及び一般死亡の二曲線は、適當なる比例にて低下し、一九一九年には、一千人の住民に對し一四・九五となれり(フランスにての平均は一九・九なり)曲線第三は、良乳供給所の死亡率と、町内に於ける死亡率との比較を示す。

只良乳供給所に登録せられたる乳兒の大部分は、不幸なる人々の乳兒にして、多人數居住し、不健康なる住宅に住まへるものなることを記憶するを要す。

町に於けるものと良乳供給所に於けるものとの腸炎にての死亡率を比較するに、已に一八九四—一九〇七年に於て、この兩者の間に大なる逕庭あるを見るべし。腸炎及び他の原因を合せたる場合にも良乳供給所の方良好なり。

吾人は本事業に三部あることを云へり。一、無償の部(貧困者)最も多く来る。二、半額支拂者、生活樂なる勞働者及び被雇人。三、支拂者(有産者、商人、富者)。

この三部に於ける死亡率の階段を精査するに、吾人は、住居の影響が如何に死亡率を左右するかを見るべし。この腸炎以外の原因に因るものにて殊に然り。

半額支拂の部に在りては、その大部分は尙勞働者なりといへども、その住居はよく、一般に清潔及び衛生には更らに注意するものなり。彼等は、フェカン地方の習慣に従ひ別々の家に住居せり。之れに反し貧困者は多數の同居者と共に群居せり。

第三の部類は前二者の部類とは劃然たる對照を爲せり。

良乳供給所の創設以來二十五年間の經驗に由り是等の曲線は得られたり。この新研究より得たる曲線は、之れに先づ十三年間に得たるものと照應す。之れに由りて世人は事業が創始以來の行動を知ることを得べし。同様の事業は町内に於ても初められたるが、同部に於ては死亡率の減少住民の富裕なるによりて、左程著しからざるは、事實にして又想像し得べき所なり。

吾人は不潔なる場所に住へる人々に幸福なる影響を與へたりとの自信を有す。一八八一年に存せる状態は最早、一九二一年には存在せず。一八九四年乃至一九一九年の第三部(貧困者)に於ては、腸炎に因れる死亡率一單位に達せず。この階級に對する改善は他の階級に於けるよりも速になし得べし。

吾人が最もよき教育者等は、たとへ自ら哺乳するによせ、又哺乳器を用ふるにせよ、吾人に多數の乳兒の養育を委託せし各階級の母親達なり。是等の母親達は新來者に對し、母親がよく聽き分けありその與へらるゝ勸告に聽從せば、殘念なる事件の生ずること殆んど罕にして、之れに反し、聽き分けなく、他の誤りたる言説に迷はされむか。生ずるものは必ずや不幸なるべしとして多くの例を引用せり。

凡て吾人の下に來る母親達は、吾人が分配する牛乳は單に「善良なる缺陷」なるを悉知し、又この文句は、哺乳器に刻せられあり。脱衣室に入る凡ての人々は、茲に大書したる下の宣傳を讀むべし。曰く「母親はその乳兒を自ら哺乳せむとしてあらゆる努力を爲さざりしとの批難を受けざらむを要すし。

吾人は吾人が經過したる過去四十年の努力を回顧して、たとへ吾人が取りし手段は如何にさゝやかにしにもせよ、吾人が此の小都會に於ける乳兒死亡率を減ずるに、寄與したりとの眞實なる確信を有す。この確信たる極めて深きものにして、吾人は吾人同様、少くとも我國の乳兒を保護して國家に盡さむと熱心希望するものゝため、果た吾人の態度が世界的反響ありしたためこの筆を執りたる所以なり。(ドクトル、レオンデュノール)

### (四) 佛國各地方別乳兒死亡率

本篇ハ大正十年五月七日發行ノ「La Presse Médicale」第三十七號ニ掲載セラレタルモノナリ。

一千九百十九年佛國に於ける各地方別 Departments 生産兒每千に付き一歳未満の乳兒死亡に關し報告されたる所を觀察するに其の成績地方に依り甚しき差異あるを認む、如何んとなれば地方により人口稠密なる地方あり又主として農村の多き地方あり、夫等と乳兒死亡率との間には種々複雑なる關係あり、例へば戦前の巴里にては年々四萬五千名の生産兒ありしが其の中の一萬五千名即ち約三分の一は巴里市以外にて哺育せられたるが如し、此統計はなるべく精確を期せんが爲め原籍地別に乳兒死亡を示せるものにて最近公刊されたる佛國一般統計報告書 Le Bulletin de la statistique générale de la France の記載による。

一九一九年に於ける生産兒每千に對する乳兒死亡率

ア エ ン	九四	アリエジユ	一〇九
ア リ ー エ	一〇一	ア ウ ブ	一一八
ア ル プ (下)	一一五	ア ウ ヅ	九七

ア ヴ イ ロ ン	一一九	ガ ー ル	一四五
ウ エ ル ホ ー	一二四	ガ ロ ン ヌ (上)	一一三
ブ ヅ シ ユ ・ デ ユ ・ ロ ー ン	一四二	ジ エ ル	一一〇
カ ル ヴ ア ド	一二七	ジ イ ロ ン ヅ	一三四
ア ル プ (上)	一三一	ヘ ロ ウ ル	一一〇
ア ル プ ・ マ リ チ ー ム	一一〇	イ ー ユ ・ エ ・ ヴ 井 レ ー ヌ	一一一
ア ル デ ヅ シ ユ	一二五	ア ン ド ル	八九
シ エ ル	九一	ア ン ド ル ・ エ ・ ロ ア ー ル	一二〇
コ レ ー ズ	九九	ド ウ ブ	一二五
コ ル ス	一一八	ド ロ ー ム	一一二
コ ー テ ・ ド ・ オ ー ル	一二七	エ ウ ル	一三六
コ ー テ ・ デ ユ ・ ノ ー ル	一一四	イ ゼ ル	一〇五
ク ル ー ズ	六七	ジ ユ ラ	一一二
ド ル ド ニ ユ	一〇八	ラ ン ヅ	八六
カ ン タ ー ル	一一七	ロ ア ・ エ ・ シ エ ー ル	一〇七
シ ャ ラ ン	一一二	ロ ア ル	一二四
シ ャ ラ ン ・ ア ン フ エ リ ウ ル	一一三	ロ ア ル (上)	一三五
エ ウ ル ・ エ ・ ロ ア ー ル	一一〇	ロ ア ル ・ ア ン フ エ リ ウ ル	一一四
フ 井 ニ ス テ ー ル	一〇四	ロ ア ン	九八